
日本カリキュラム学会

第13回 研究集会のお知らせ

代表理事: 松下 佳代
研究委員会委員長: 上地 完治

テーマ:

<性の多様性>を教育課程にどう位置づけるか

趣旨:

性的指向や性自認に関する<性の多様性>は、個別的な配慮や支援にとどまらず、より適切な生徒指導・人権教育等を通して積極的に取り扱うことが要請されてきた（文部科学省『性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）』2016年）。

では、カリキュラム研究者は本テーマをどのように引き受け、向き合っていけばよいのだろうか。また、学校の教育課程に本テーマを位置付けて指導しようとするとき、どのような課題・困難が生じてくるのだろうか。このような論点に先進的に取り組む研究者にご報告いただき、参加者と協議することで、これからの研究と実践に示唆を得たい。

日時:

2023年3月5日（日）13時30分～16時00分 ※13時20分頃から入室可。

場所:

ハイフレックス（広島大学教育学部第3・4会議室／オンラインウェビナー）
対面会場には原則として50名を目途に受け入れます。
状況次第では全面オンラインに切り替えることもあります。

報告者:

- 社会学（ジェンダー・セクシュアリティ）の研究の成果から
眞野豊（鳴門教育大学）
「<性の多様性>を教育課程にどう位置づけるか」
- 教科教育に関する研究の成果から
川口広美（広島大学）、岩田昌太郎（広島大学）、村田一朗（大垣市立北中学校）、
白石愛（福山市立鷹取中学校）、小栗優貴（愛知教育大学）
「<性の多様性>についてどのように授業実践していったか
ー社会科と保健体育科の共同開発研究を通してー」

コーディネーター・司会:

木原俊行（大阪教育大学）、草原和博（広島大学）、橋本美保（東京学芸大学）

参加費:

無料（学会員でない方もご参加いただけます）

参加申込

参加希望者は、対面オンライン共に、[こちらの URL](#) から参加申込を行って下さい。
3月4日（土）18時を締め切りとします。オンライン参加者には3月4日までに接続に必要な情報がメールで送付されます。届かない場合は、「迷惑メール」のフォルダに入っていないかご確認ください。